



## ● スポーツ国際交流員 (SEA) の活動を通じ「ホッケーで町おこし！」 —— 京都府京丹波町

### はじめに

京丹波町は京都府の中央部に位置し、緑豊かな丹波高原に囲まれた人口約1万3,000人の町です。京都国民体育大会のホッケー競技開催を契機にホッケーを町の競技とし、子どもから大人までホッケー競技に親しみ、地元からもホッケーの日本代表候補選手を輩出するなど、ホッケーは、町おこしのひとつとして町民に広く親しまれているスポーツです。数年前より、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウン構想のもと、海外のホッケー代表チームの合宿誘致に向けて取り組んできました。その経緯の中で、ホッケー指導をできるスポーツ国際交流員 (SEA) として、ブランドン・ジェイ・ハリソン氏をニュージーランドから招致しました。

### 活動の様子

#### 地元スポーツ少年団の指導

本町には、小学生で構成する2つのホッケースポーツ少年団があり、主に土曜日を活動日とし、地元の指導者と共に、子どもたちの指導に従事しています。活動当初は子どもたちも初めて接する外国人に戸惑いがちでしたが、今では言葉の壁を乗り越えて、親しくなり、冗談を言い合えるまでになりました。また、各種のスポーツ少年団の大会にも積極的に参加し、大きな声で応援をしています。全国的な少子化傾向は本町の課題でもあり、年々子ども的人数は減少し、おのずと少年団の人数も少なくなってきました。



スポーツ少年団で指導する SEA

数も少なくなってきました。SEAとの交わり、ふれ合いを通じて、ホッケーをしたいと思う子どもたちが増えることを願い、SEAは毎回熱心に指導をしています。

#### 中学校のホッケー部活指導

町内にある3つの中学校のうち、2校にホッケー部があります。放課後の短い時間ではありますが、週2回指導・助言をしています。顧問の先生と相談しながら、個々の課題に見合った指導をしています。少年団からそのまま中学校のホッケー部に入る生徒もおり、顔見知りも多く、課題もわかるので指導しやすい利点があります。SEAは、子どもたちとのコミュニケーションを円滑にするために、ホッケーの技術のみならず、日本語習得のため町内にある日本語教室にも通っています。中学校では、毎年地方大会から全国大会まで各種の大会に参加する機会があり、京都府大会での優勝や近畿大会、全国大会に出場し、好成績を残しています。また、全国中学校の選抜選手に選ばれた生徒もいます。多くの生徒は、卒業後に地元の高等学校に進み、ホッケーを続けています。

#### 保育所・幼稚園・小学校でのホッケー教室の支援

本町では、ホッケー競技を町技としていることから、地元のホッケー未経験者、とりわけ幼児から小学校の児童にも広く、ホッケーに親しみ、面白さを知ってもらい、ひとりでも多くのホッケー選手を育成するためにホッケー教室を開いています。

園児にホッケーの楽しさを教える SEAは、園児や児童からも慕われており、彼自身も、ホッケー教室を通じて、早い段階からホッケーに親し



地元小学校で実施したホッケー教室で指導する SEA

みを持ち、ホッケーの楽しさを体験させることに喜びを感じています。

さらに SEA は、この活動を通じて、共に指導をする

地域のホッケー指導者との交流も深まり、相互の信頼関係の積み上げもできるようになってきています。今後も大切にしたい取り組みでもあります。

## 地域行事や教育委員会の取り組みへの参加

SEAの活動目標の一つに、地域の文化・伝統に親しみ、その重要性を理解するために地域行事や各種取り組みに参加することがあげられます。本町の祭りや伝統文化の体験などさまざまな取り組みに積極的に参加し、SEAの活動を広く町民の方々に知ってもらうことが重要となります。

本年度は、町内小学校に出向き、1年生へ絵本をプレゼントする「京丹波町セカンドブック事業」に参加し、地元の図



京丹波町セカンドブック事業に参加するSEA

書室や教育委員会の職員らと共に、サンタクロースに扮装して教室を訪問し、児童一人ひとりに絵本を手渡しました。児童は照れながらも大いに喜んで本を受け取っていました。

## 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会ホストタウン構想の支援活動

数年前から東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会ホストタウン構想を立ち上げ、以後ニュージーランド等の諸外国のホッケー競技代表選手団の事前合宿誘致事業を展開しています。この活動の中で、SEAは相手国のホッケー協会や、その代表者との交渉の仲介役として、メールでのやり取りや資料の発信等を主な業務としています。現時点では、特定の代表国との合宿誘致には至っていませんが、今後も継続して取り組んでいきます。

## 今後のSEA活動に期待すること

### ホッケー競技の普及

本町では、年々少子高齢化が進む中、ホッケー競技者人口も次第に減少しているのが現状です。SEAの招へいはこうした現状のもと、より多くの町内の子どもたちが

ホッケーを体験することで、親しみや面白さなど身をもって感じ、さらに専門的な技術や技能を習得したいと思えるように、その指導力を発揮してもらうことです。

### ホッケー施設と環境の有効活用

本町では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事前合宿誘致に向けて、またホッケー競技人口の増加や他地域のホッケーチームとの交流の活性化を目指し、ホッケー場の人口芝の張替えや、周辺整備、ナイター設備などホッケーに関わる環境整備が行われており、その環境を有効に活用するために、以下のような取り組みを行ってきました。

- ①毎年春季に全国の子どもから、大人までを対象に交流試合を行うホッケーフェスティバルの開催
- ②日本の女子ホッケー実業団チームの選手によるホッケー教室の開催
- ③ホッケー元日本代表選手やホッケー女子日本代表「さくら JAPAN」の選手との交流とホッケー教室の開催
- ④その他スポーツ少年団の各種交流試合や中学校・高等学校・大学の公式試合や社会人リーグの開催

SEAには、これからも本町の充実したホッケー関連の施設、設備を有効に活用してホッケーを通じて町おこしをするために、さまざまな取り組みにかかわりを持ちながら指導の方法や支援の在り方を学んでほしいと願っています。

### 町内ホッケー指導者との交流と研鑽

自らの技術や技能を身に付けるためにも、町内ホッケー指導者や日本で活躍する有能な指導者との交流を深め、さらに自らの技術や指導方法をより確かなものにしたが積極的に研修へ参加し、今までの経験を生かして、その技術やホッケーの面白さを講師として、自分からも発信して行くことが、これからのSEAにとって重要なことと考えています。



地元出身の実業団選手や地元指導者と一緒に行ったホッケー教室に参加したSEA（後方中央）